

発行元 / 大分県土木建築部 事業名 / 大分県建設産業女性活躍加速化促進事業

BLOCKSY

創刊号

2024年3月

丸ごと建設女子特集
知らなかった建設産業全公開！

2024年働き方改革！
各社が取り組む先進事例

給料高いの？休み多いの？

ツールも機械も最先端
建設業ってカッコイイ！

実はオフィスワーク！？
働き方教えます

えっ、SNS担当の職域があるの？
現場を支える建設女子の仕事

建設女子ってネイルも髪型も
オシャレな人多いって本当？

Contents

04

大分県土木建築部長メッセージ

06

BLOCKSY について

08

BLOCKS 創刊について
野上 伶奈

10

秋好 杏美

12

城土 遙華 / 小野 亜由美

14

長 澤 真 美

16

吉廣 昌子

18

安心 院 愛 実

20

女性に向けて期待すること
おすすめ美容アイテム

22

三宅 つかさ

24

加藤 綾子
次号予告

26

参加企業一覧
クレジット

My VIEW

建設業で働く女性技術者が抱える 現状と課題についての論文を書きかけ

私自身が建設業に興味があり、施工管理のインターンシップに参加した際にも女性性は少なかったこと、女性技術者に関する取組みが行政や業界主導で行なわれていますが、現場で働く女性技術者は実際にはどのように感じているかに関心を持ったからです。

研究を進め、いただいたアンケートの回答からは女性技術者の抱える問題だけでなく、女性技術者らは建設業界全体を改善しなければならないと考えていることが明らかになり、今後は女性技術者の抱える問題だけではなく、建設業界全体の抱える問題を解決していく必要があるのだと感じました。

私の素朴な疑問



日本文理大学工学部建築学科
中西研究室 4 年
佐藤美月

お昼ご飯はおしゃべりをしながら食べたいのですが、
どのような感じで食べているのですか？
(何人くらいで？ 話しながら？ ランチにかける時間は？)

現場では作業服ですが、出勤や退勤の際も
作業服のままの通勤ですか？
帰りに飲みに行く際も作業着なのかな？ と。
うちの先生が飲み会でもいつも
作業着なので気になりました (笑)

建設業界に入って一番嬉しいと感じた瞬間は
どんな瞬間ですか？

私のジェルネイルは短め

私、百華 25 歳。私のジェルネイルは短め。
なぜかって？ 長いとお気に入りのキティちゃんマウスのリボンに引っかかる。
旦那の祐介はトラックドライバー。今頃は豊予海峡トンネルの真ん中くらいか。
保育園から連れて帰った一人息子の碧はよく眠っている。
保育園から連れて帰った一人息子の碧はよく眠っている。
朝は元気だったのに、子どもはわからない。
微熱があるんだとか、保育園の桜子先生からお迎え要請の LINE。
ということで、午後の仕事は自宅でやることに。
さあ、キティちゃんをクリック。
タブレットには動き出すブルドーザーの姿。

順調だ。
そう、私はメジロン建設会社、入社 3 年目。今、道路を遠隔で作っている。

それでも、いっぱいしの技術屋だ。

土木の工事は遠隔操作が当たり前。

どこでも、仕事は出来る。

今日は碧の寝顔を見ながらの工事だ。

えっ。アラーム。どうしたんだろう。

ブルドーザーの搭載カメラではわからない。死角に何かある。

仕方ない。今日は現場に居るはず。杏奈に調べてもらおう。

キティちゃんを動かし、杏奈を呼び出す。

「何か用事？ 百華。」

「うん、ブル、アラームなんだ。原因不明。ちょっと、現場確認してきて、お願い。」

杏奈は同期入社。一つ上の 26 歳。何でも話せる良き友だちでもある。

「ブルのブレードに転石ありだわ。」

杏奈のウェアブルカメラを通じて状況が見えてきた。

「これ、ブルじゃダメだね。ブレーカーではじこう。杏奈、ごめん。手配して。」

「えっ。仕方ないなあ。例のケーキ屋のキャトルカーおごりだよ。」

「う〜ん・・・了解」

こんな会話って、遠い将来だと思いませんか？

近い将来、こんな会話が交わされるようになるんです。

建設現場の進化は劇的だ。

私が昭和の終わりに大学生だった頃、クラスに一人、女性がいた。

なんと、明治の開校以来 2 人目だと。

今は違う。多くの女性が土木を学んでいる。

これからの道路やビルを作るのは、女性が中心になるのでは？

この雑誌は、大分の建設業界で最先端を走る女性が熱く語っている。

さあ、あなたもいきいきと輝く女性の思いを聞いてみて。

そして、建設業の扉を開いてみて。



令和 6 年 2 月
大分県土木建築部
部長 三村 一



大分県建設産業女性活躍加速化促進事業「BLOCKS」

この事業は大分県の建設産業における女性等の活躍を推進するため、経営者向けのトップセミナーを開催するとともに、女性職員等を対象に、急速に進展する建設現場の情報化等を活用し、測量や積算コスト管理、情報発信能力等取得するスキルアップ講座等を実施することを目的に、令和2年度より大分県が取り組んでいる事業です。
さらに令和5年度からは女性等の活躍をさらに加速させることを目的とし、建設産業関係者や学生・生徒（特に女子高校生）を対象とした建設産業の女性活躍にかかる情報発信を行うこととしています。

コンセプト 『積み上げる』

毎日の当たり前を作っている 世界のインフラづくりは
大きな転換期を迎えている。

私たちは、人手不足や働き方の変化に合わせて、
しっかりとした土台を作り 伝承してきた技術を活かしていく。

女性や若者にも 新しい領域の働き方を作り、
イノベーションを起こす。

地域を守る建設産業としての誇りを忘れず

そこにいる人、全てが発信したくなる これからの未来に向けて

積み上げる



2020 ARCHIVE



2021 ARCHIVE



2022 ARCHIVE

BLOCKS HISTORY 2020-2023

TOP LEADERS

□ 2020：219 名（全 5 会場）
□ 2021：1803 回（合計視聴回数 vol1～vol6）

□ 2022：183 名（全 3 会場）
□ 2023：250 名（全 12 会場）



SKILL UP SEMINAR

□ 2020：219 名（全 5 会場）
□ 2021：1803 回（合計視聴回数 vol1～vol6）

□ 2022：183 名（全 3 会場）
□ 2023：250 名（全 12 会場）



BLOCKS FUTURE LOUNGE [成果発表会] ～建設産業の未来を想う人たちが集い、提案し語り合う場所～

建設産業に携わる私たちは日々がより便利に、
より安全に暮らせるようにインフラを整備することがシンプルな願いです。
だからこそ技術力を磨き自然と調和することを大切に地域の方々の声をもっと聞きたいと思う。
だからこそ建設産業の未来を想う人々は伝わる伝統にこだわりながらも変化することを
それを伝えていくことも使命だと感じている。
BLOCKS FUTURE LOUNGE は、そんな建設産業の未来を想う人たちが集い、提案し、語り合う場所です。
毎年度のゴールイベントとして、スキルアップセミナー受講者代表によるプレゼンテーションが行われます。会場では
建設産業を盛り上げていこうという雰囲気が、一体となって広がっています。





BLOCKS

創刊について

現役の建設女子がリアルを発信するメディア BLOCKSY
は、2023年1月の BLOCKS FUTURE LOUNGE で建
設業の魅力を発信するメディアを作りたいという女性技
術者の提案から動き出した。



創刊号の表紙は提案者の野上伶奈さん

【女性のほうが向いていると考える業務】

女性に向いている仕事はたくさんあります。女性は細

【どんな会社ですか？】

社長等から「どうしたらもっと若手が增えるか？」な

【子どもの頃から夢の実現】

小さいころ人気だった家庭の劇的リフォームをするテ

【BLOCKSに参加し】

社長の勧めで参加しましたが、はじめは「建設女子

【3年目だから書えること】

最初は、建設業は男性社会のイメージだったため、女

員がどんなことがどこまで出来るか分からないので、自



野上伶奈 株式会社末宗組（宇佐市）
Rena Nogami

ICTや BIM 導入で、
女性だからこそやってほしい！といえる
建設業の魅力

分て出来ること出来ないということをはっきり伝える事
が大切で、無理なことを引きつけてしまったり、出来な
かった時、迷惑をかけるし、精神的にもきつかったです。
また、「女性社員はみんなこゝまで出来たんだ」と
いう認識になってしまったので、先輩が入ったときに負
担になってしまいかも知れません。
実際はまだ女性が働くには不便な所もあると思いますが、
会社全体で話し合いの場を設けてもらい、どんどん改
善していくので、安心して建設業に来てほしい。まだ悪
いイメージが多いかもしれませんが、実際はそんなこと
もなく働きやすい職場だし、ICTや BIM などの技術
も発展しているから女性でも働きやすいですよ！

建設業のことを何も知らない人はやっぱり反対をする
し、親に反対されたら建設業で働くこと自体諦めると思
います。建設業に女性が当たり前になるには、
私たち自身が自分たちはこういうふうに働けるんだ、こ
んなこともできるんだということを広めていかないといけ
ません。それをどう広めていくか考えた時に、皆さんは
ゼクシイという雑誌の中に彼専用や親向けセクシーがあ
ることを知っていますか。

ゼクシイとは花嫁さんが結婚式の準備をするために見
るものですが、花嫁さんが結婚の準備をするため、そ
して親が結婚式のスタイルを知るために小冊子を扶ん
でいます。ゼクシイにも彼向けや親向けがあるみたいに
建設業も女性向けや親向けに新しい建設業のメディア
BLOCKSYを作ってみてはどうでしょうか？

BLOCKSは現役の建設女子が建設産業のリアルを
発信するもの。例えば子供が建設業に入りたいと言った
時には親向けの内容として建設業の職種や給料、給与や
安定性、どんな人がはたらいているかなど親が
気にするリアルなことを発信します。女性向けのメディア
は女性が建設業でどう活躍しているのか、どんな仕事

をしているのか、ヘアスタイルやネイル等のおしゃれに
関するコンテンツなど。実際に私や、周りの人が働く前
に気になっていたことを載せようと思っています。またこ
のサイトには企業紹介などをし、求人にもつながるよう
にしたいと考えています

そしてまずは BLOCKSYの存在を知ってもらうた
めに、企業のホームページにリンクを貼ったり、工事現場
や現場の仮囲いにQRコードで BLOCKSYのサイトを読
み取れるようにするのはどうでしょう？いろいろなコン
テンツを作ってその人の知りたい情報がなんでもわかる、
そして建設業のイメージを変えることができる、そんな
メディアを作れば建設業に興味を持つ人が増え、憧れ
の業界になると思います。

最後に自分の娘が建設業に入りたいと言ったらどうし
ますか？誰もが迷うことなく「いいやん！」と自信を持っ
て進められる業界にしていきたいです。

（提案した野上伶奈さんのプレゼンテーションより抜粋）



建設業から実現できた世界 vol.002

一番伝えたいことは？という質問に、
「建設業は汚い、かっこ悪いじゃない！オシャレもできるし、
髪の色もネイルも楽しめる！それを知ってほしい。」と熱を込めて語った。

仕事では女性の細やかな視点と、「POP
なものが好き」という個性を生かしている。
設計おりの施工では段差にベビーカーがひ
つかかるのではないかと指摘したり、工事の
砂や汚れが一般の住宅に入らないよう、掃除
をするように注意を払う。広報活動を任され
ていて、「家の前で行っている工事の内容をお

建設業は男性が多い業界だからこそ
女性視点が活かされる。

高校では化学科に在籍したが、その道で仕
事に就くことに興味を持てなかった。家族に
相談したところ現在の会社に縁があり、卒業
後は初めての女性社員として採用される。全
く知識のない状態で入社したが、現場で工事
にたずさわると土木の仕事が楽しくなった。
むしろパソコンでの書類作成がおっくうで、
ついつい後回しにしがちだったという。物お
じせず、なんでも思ったことは積極的に発言
する。「一つ端なりに、黙っているんじゃない
くてアイデアはどんどん出します。」辛い会
社の雰囲気は、失敗してもいいからやってみ
よう、ダメだったら一緒に考えようという空
気があり、なんでも相談でき挑戦させてくれ
るのだとか。



2021年に開催された
BLOCKS成果発表会の様子



角栄建設工業株式会社の
キャラクター「かっくん」。
SNSにて紹介！

他の会社が行っているいい取り組みを持ち帰
って、自社に生かすことができています。ド
ローンの免許もとって空撮写真をSNS運
用に活用しています。そして、何より同じ業
界の女の子と仲良くなりました！

BLOCKSに参加して

知らせて、住民のみなさんに安心してもら
いたい」と、インスタグラムやLINEも
取り入れた工事看板を作成した。自社の認知
をひろげることや、地域住民へのイメージア
ップのために、会社のキャラクター「かっく
ん」も発表した。会社遊びに来るオレンジ
色のトラッドがモデルだ。「かわいい」と評判
も良く、グッズ化も検討しているという。
「床がほげそうな社屋では、高校生たちが
この会社に入りたと思う。人が見学に
来て恥ずかしい社屋にしたい！」そんな
思い切った進言をうけて、社屋の新築が決ま
った。新しい社屋では、女性用トイレや更衣
室がある。ワガママを言える社風があるから
「シャワー室もつけてほしい！」という要望
も近い将来叶うかもしれない。今後は、今与
えられている仕事をカンペキにこなせるよう
になりたいという。「まだまだ上司のほうか
抱えている仕事量も多い。その負担を一緒に
担えるようになりたい」と同じく笑った。



Interview for BLOCKS
建設業女子に聞く！

建設業だから実現できた世界
vol.002_ Ami Akiyoshi

男性が多い業界だからこそ
女性視点が活かされる。
社員をつなぐ役目になれる

角栄建設工業株式会社（大分市）
秋好 杏美

Ami
AKIYOSHI



MY
PRESENTATION
for BLOCKS



角栄建設工業
株式会社
について

商業高校から建設業を志した。
「事務職」を探した彼女が「施工管理」で活躍するようになった理由。



建設業だから実現できた世界 vol.003

BLOCKSに参加して

BLOCKSでは「模範や広範など基礎から学ぶことができ、今では現場でバリバリ自分でできるようになっています。」

趣味はカメラやライブ

写真撮影が好きで、自分とった現場や職場の写真をフォトブックにして、会社に飾ったりする。音楽フェスやライブが好きで、「ライブに行くから休みを取ります」というのも理解のある職場でプライベートの楽しみも大切にしている。

一通のラブレター

女性社会が得意でなく、男性の多い会社の事務職を探していた。建設業を志したのはそんな理由があるという。ところが就職説明会では事務職の募集はなく、「施工管理」と書かれていた。後日社長は、自ら書いた手紙を学校に届けた。そこには「あなたがこの会社に来たら、こんな仕事をやってもらいたい」という内容が事細かに記されていたという。



この仕事を選んだ理由は？と聞かれて「圧倒的に給料がいいから」とはっきり答える彼女の趣味は「推し活」！

建設業だから実現できた世界 vol.003

未知は武器

パソコンを使い書類を作成する仕事。そこはすんなり取り組めたが、男性ばかりの職場にはなかなか慣れず1年目はうまくまわりの社員たちと話せなかった。自分は会社の役に立っているのか？と疑問がよぎったが、「まだできることがあるはず」と出社を30分早く工事に向かう技術職の社員たちに挨拶をした。ちょっとしたコミュニケーションで話せる人が増えたら、どんどん楽しくなっていく。

私たちの管理部の仕事

所属する管理部はバックオフィス業務を担う部署で、女性ならではの丁寧さや感性を期待されている。現場をパトロールし、「安全面では大丈夫でも、地域の住民の方がどう思うか？ここにモノを置いてたら通りにくいのでは？」と忙し現場の技術者が気づかないような細かいことに気を配る。現場に女性がいると、地域の方々からも声をかけられ興味を持ってもらえることも多い。会社の名前を覚えてもらい、イメージアップにつながるよう心がける。工事看板を作る時は、地域の住民に興味を持ってもらえるように、工夫して作成する。高校の向かいが現場だった時には、人気アニメになぞらえて工事に関するクイズを出す看板を立てた。QRコードから回答できるようなSNSと連携したところ、反響も大きかった。「建設の会社で、こんな面白いこともできるんだって高校生に知ってほしかった」と語る。

■推し活とは…

自分にとってイチオシのアーティストやキャラを応援する活動のこと。
小野さんにとっての推しはKPOPのアイドル。ライブコンサートに参加するために、東京や大阪などの県外に泊りで行くことも多いという。商業系の高校から就職を考えるときに、「給料が圧倒的に高く、休みの都合をつけやすい」と建設業を選んだ。すべては推し活のためだ。社会人になると学生時代と違って、推し活にかけられるお金も増えたという。「言えないくらいお金を推しに使っています！」と笑う。

Interview for BLOCKS

建設業女子に聞く！

建設業だから実現できた世界
vol.003_ Haruka Jyoudo
Ayumi Ono

趣味もすっかり楽しむために
建設業を選んだ！

Ayumi ONO

Haruka JYODO

商業高校で学んだことが役に立つ！

MY PRESENTATION
for BLOCKS

三浦国土建設
株式会社について

MY PRESENTATION
for BLOCKS

長澤さんが働く株式会社友岡組には「sapomoka (サガモカ)」という社員の働きやすさ支援の取り組みがある。それはどんな取り組みなのか、長澤さんに聞いてみた。



建設業だから実現できた世界 vol.004



MY PRESENTATION for BLOCKS



株式会社友岡組について

女性だけではなく、みんなが働きやすい会社

sapomoka の設置から、社員の困っていることを把握し、出来るだけ早く会社が対応するようにしています。最終的には社員みんなが働きやすい会社を目指すのですが、女性のほうがもともと抱えている問題が多くないが、女性だから特別扱いする

sapomoka が設置された経緯は？

今まで男性がいなかった部署に女性社員が配属されるようになりました。本社は女性が多いけれど、現場や工場は男性が多いので、女性の声が通りにくく、困りこともあつたのでは？「友岡組（建設業）で働く女性の多い環境づくり」のための窓口をつくらう！という社長夫妻の発案で、2023年の4月から発足。sapomoka の活動内容ですが、3〜4か月おきに女性社員が集まり、お茶菓子をいいただきながら雑談します。話題は健康の悩み、家庭の悩み、仕事の悩みなどいろいろですね。女性社員が働くうえで困りごと・悩みごとを、仕事のことに限らず聞きます。それに対し、みんなできること、会社でできることがないかを協議し快適な職場に向けて動きますが、すべて解決できないこともあります。相談のつど、担当者が社長と取締役は報告を行い、話し合いを重ねて何らかの対策はとっていきます。女性が働くうえで快適な職場になれば女性社員の定着・新規雇用へと増員につなげることが出来るはず、という狙いもありますね。

一人一人に合った働き方を提案

例えば生理。生理痛は人によって全くない人、ひどい人があります。そのためその人の症状を生理に合った対応をするようにしています。生理に関するところに留まらず、妊娠、出産に関しても同じで、あの人が産休を取れるようにしたい。長期休暇をとると、どうしても社会から離れるため疎外感を感じて、仕事のやりにくさやコミュニケーションからの取りづらさを感じがちです。しかしこれらの時代は、在宅勤務の体制など働き方の自由度を高めることで、再復帰した時の仕事のやりにくさを軽減出来たらしいです。私自身、会社にとって初めての産休育休取得。育休は大手だったから3年までとれますが、私は3か月で職場復帰しました。会社にとって初めてのことであったので、会社とよく話し合っただけ私をロールモデルにするのではなく、一人一人の状況に応じて柔軟に対応するのがいい

BLOCKSに参加してどうでしたか？

デキスパートを学べたのが良かったです。自分が知識を得ただけでなく、それを社内に持って帰って他の社員ともシェアできました。また、豊後大野市って若い人が多いです。BLOCKSに行って、若い人や同じ世代の人がたくさんいて安心しました！講座受講後も連絡を取り合って、インスタフォロワーしあったり、やり方を真似たり、学んだことが多いです。情報交換できる横のつながりができたので、新しい情報をもとに「こんな導入してみてもいいかな」と現場に提案したりできるようなりました。

豊後地区の会社でつながりができたので、意見交換などしたいです。地域の団結を強めて、若い人を引っ張って集まれる場を作っていきます。

これから取り組んでいきたい3つのこと

- 育児休暇や介護休暇に備えて、在宅勤務やリモート勤務でできる分業体制を整える。
- 生理や妊娠中、産後について皆に知ってもらう。
- 女性だけでなく、男性も同じように、体調不良や家族のことで休みがとりやすい環境を。

と思います。現在は8:30〜16:30の勤務ですが、子どもの状況に応じて就業時間を変更してもらっています。

sapomoka の活動



- “女性活躍推進法”の観点から建設業で働く女性の働きやすい職場を目指す。
- 窓口を設置することで現場の声を聞きやすくし、改善に向けて活動しやすくする。
- 建設業＝男性というイメージを払拭し、女性が生き生きと働ける職場づくりを目指す。
- 現場（工事現場・工場・事務所）へ出向いて、実際の声を収集する。

～ sapomoka の実績！社員の声を受け、実際にどんな変化があったのか～

- ☐産休・育休の取得、産休明け時短勤務
 - ☐ドリンクサーバー設置（お茶淹れ面倒よね…なら、ボタンひとつで済ませよう！）
 - ☐現場事務所では…女性専用休憩室と女性専用トイレの設置（エアコンやロッカー、鏡完備。トイレは普段誰か入れないように外鍵付き）
 - ☐男性と体のつくりが違うので女性用制服を導入。
 - ☐生理休暇の認知の促進
- <相談内容>
生理の時、痛みがひどかったり、出血が多く仕事に支障をきたすほどで困っている。
↓
男性の上司に言いにくい時は sapomoka 担当者が代理で伝える。ずっと痛むわけではない人は少し横になって休むなどその人に合った対応を認める。
☐日焼け止めクリーム、汗拭きシート購入を会社が負担
夏場の外仕事は日焼け止めが落ちたり、汗が気持ち悪くてシートで拭いたり、そういった用品を準備するのは大変であり、消耗が激しいので費用もかかる。外勤きの全社員対象



株式会社友岡組（豊後大野市）
長澤真美